

2025 AI

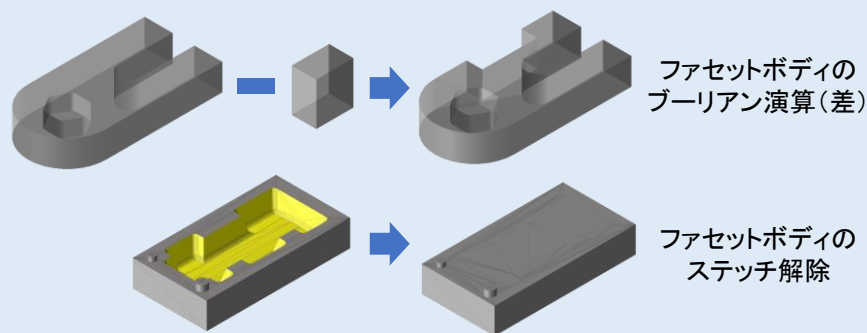
GIBBSCAM 2025 新機能紹介 ～利便性・機能性の更なる向上～

G GIBBSCAM 2025 はAI機能の実装により利便性が向上しました。また、ファセットボディ編集やミーリングの強化、旋盤や複合加工機に有効な旋削加工機能やシミュレーションの強化など、機能性が更に向上しました。

モデリング

ファセットボディ (STL) 編集

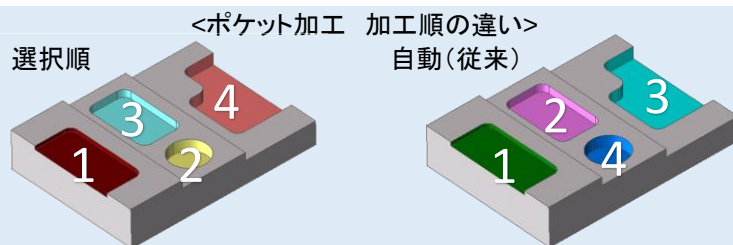
新たにファセットボディ(STL)の編集に対応。ファセットボディでもソリッドモデリングのようなブーリアン演算、スライス、オフセット/シェル、ステッチ解除などが可能。また、ファセットボディ専用のFBソリッドモデリングが追加。ソリッドのテセレーション(ソリッドをファセットボディに変換)、単純化、修復、スムージングなどに対応。



ミーリング

輪郭／ポケット加工の加工順設定

複数図形の輪郭加工、ポケット加工に於いて、図形の選択順に加工する機能を追加。従来のシステムが自動で加工順を設定する機能との切り換えが可能。



工具

工具毎の加工条件登録 項目追加

GibbsCAM 2024で追加された工具毎に加工条件を登録する機能に、加工幅と切込み量の項目が追加。複数の加工条件登録によりスムーズな加工設定が可能に。

送り速度と回転速度の対応表 - 工具#1

項目#	名前	表面速度	1万当たりの送り量	送り	加工幅	切込み量
1	荒加工	80.0 周速	0.1 mmpt	0.2 mmpr	8.0 ミリ	2.0 ミリ
2	仕上加工	100.0 周速	0.07 mmpt	0.14 mmpr	2.0 ミリ	5.0 ミリ

幅計算 深さ計算 回転速度計算 送り速度計算

AI機能

AIサポート機能の追加

<GibbsCAM Copilot>

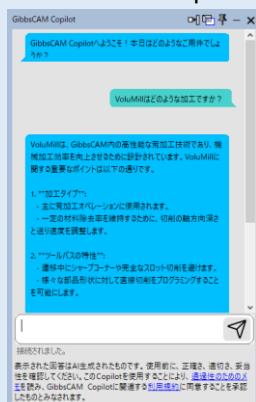
ヘルプメニューにAIチャットツール「GibbsCAM Copilot」を追加。AI回答へのフィードバック機能も実装。

<up2parts autoCAMプラグイン追加※1>

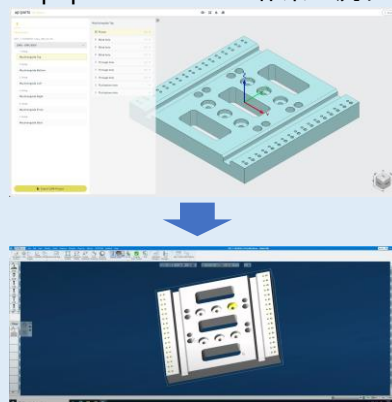
3DモデルからCAMプログラム提案を行うAIソフト「up2parts autoCAM」作成パスをインポートするプラグインを追加。GibbsCAMでそのまま使用・編集が可能。

※1. 使用するにはup2parts社のup2parts autoCAMの購入が必要です。
up2partsは現状、英語・ドイツ語のみに対応しています。

<GibbsCAM Copilot>



<up2parts autoCAM 作業の流れ>



ターニング

旋削加工機能の強化

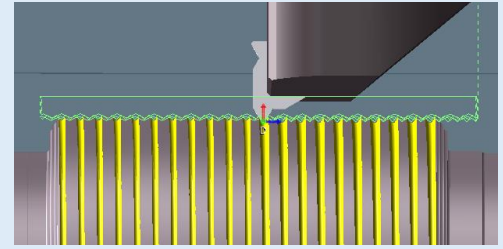
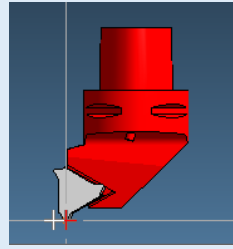
<ネジ切り - OptiThreading™※2対応>

切りくず処理に効果的なサンドビック・コロマント社のネジ切り加工「OptiThreading™」のツールパスに対応。ColoPlus® Tool Libraryにて登録した専用チップからOptiThreading™ツールパスが作成可能。

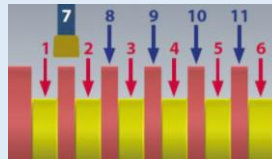
<荒加工 - リブ切削プランジ対応>

新たな旋削溝加工に対応。チップ全当りで予備加工を行い、送りを上げて残りのリブを加工。チップのたわみを低減し、チップ寿命向上や優れた切りくず処理などに効果的。

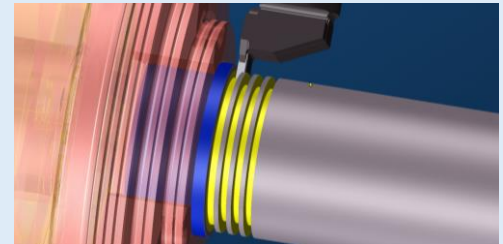
CoroThread®266によるOptiThreading™の加工シミュレーション



リブ切削プランジの加工順



リブ切削プランジの加工シミュレーション



※2. 使用するにはサンドビック・コロマント社のCoroPlus® Tool Libraryの購入が必要です。

表示、シミュレーション

旋盤、MTM関連の視認性向上

<Opタイルリスト マルチフローの並列表示>

新たなOpタイルモード（各フローを表示、同期フローモード）が追加され、OpタイルリストでMTMのマルチフローの並列表示が可能に。同期コントロールを表示せずに複雑なマルチフロー動作順の確認が可能。

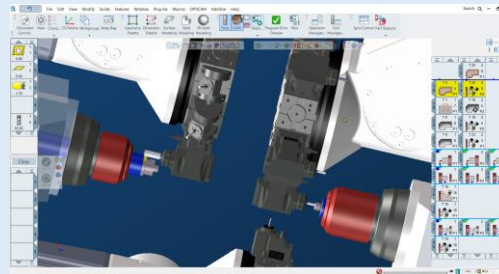
<回転方向を表示>

シミュレーションで工具主軸、ワーク主軸の回転方向を矢印で表示。視覚的に回転方向が確認でき、視認性が向上。

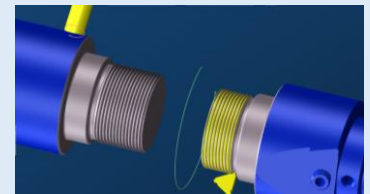
<同期コントロール 加工位置の表示>

同期コントロールのインターOpブロック表示でシミュレーションを行うと、現在加工位置を赤いバーで表示。マルチフローの加工状況確認が容易に。

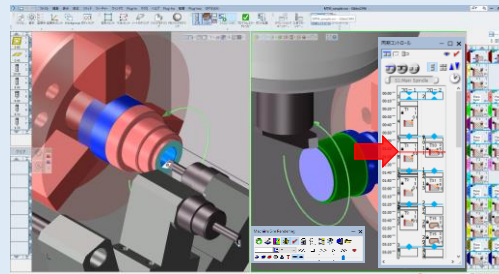
複合加工機（3ターレット）のマルチフロー並列表示（同期フローモード）



工具主軸とワーク主軸の回転方向表示



同期コントロールの加工位置表示



その他の新機能と対応ファイル形式

【その他の新機能】

ミールリング	ミルフィーチャー - 上面Z自動+	ミールリングプロセスでミルフィーチャータブの上面Zが「自動」の場合、検出された上面Z値よりプラス方向の増分値の指定が可能に。
	進入/逃げ オープン側 - 仕上げ壁面をオーバーラップ	ミールリングプロセスのオープン側タブに新たに「仕上げ側面をオーバーラップ」が追加。仕上げ壁面の進入/逃げ位置をオーバーラップして切削することにより、工具たわみ減少や工具寿命延長に貢献。
操作性	IT治具を回避（中間工具機能）	3Dミールリングプロセスに「IT治具を回避」が追加。有効にすると、中間工具設定の治具モデルによるツールパス干渉回避が可能。
	編集メニュー - 選択 - フィルタ選択	選択した図形やモデルに対して、選択不要な点や線、円、エッジなどをフィルタリングして選択解除が可能。座標系ごとの仕分けも可能。
	編集メニュー - 選択 - マウสดラッグによる選択解除	Ctrl + Shift + ドラッグで図形やモデルの範囲選択解除が可能に。
	切削領域のみのマウสดラッグ選択	切削可能な図形やモデルのみを選択するマウสดラッグ範囲選択に対応。マウสดラッグする方向で従来の包括的な範囲選択（左から右へ）と切削領域のみの範囲選択（右から左へ）の切り換えが可能。マウสดラッグの方向はファイルメニュー - 選択項目 - インターフェースで変更可能。
	ツールパス再描画を素早く簡単に	ファイルメニュー - 選択項目 - インターフェースの設定を変更することで、OpタイルタブとOpタイルを一回クリックするだけでツールパス再描画を行うことが可能に。
シミュレーション	ソリッドのコピー/ペースト - モデル色、属性の保持	別のVNCIにソリッドをコピー&ペーストする場合、モデル色や属性、フィーチャーなどの情報の保持が可能に。
	干渉チェック、プログラムエラーチェックがデフォルトON	新規VNCを作成する場合、シミュレーションの干渉チェックとプログラムエラーチェックがデフォルト有効に変更。
	Opシミュレーション - 切削ワーク分析 許容誤差設定	切削ワーク分析のすべての項目で許容誤差の設定に対応
	新たな停止タイプ - すべてのオペレーションの前に停止	新しい停止タイプが追加。この設定を有効にすると、すべてのオペレーション開始前にシミュレーションが停止。
5-Axis	マルチブレード加工	エッジ - エッジ回転 - リーディングトレーリングエッジの個別設定
	リンク	リード-イン/アウト - 新たなリードタイプ「フェード」
その他	プロセスマネージャー - Opマネージャー	加工面から離れたり、加工面に向かって移動する新たなリードタイプ「フェード」が追加。
	対応項目追加（VoluMill, 5-Axis）	プロセスマネージャーとOpマネージャーに新たにVoluMillと5-Axisの項目をサポート。

※抜粋して記載しております。詳細はWhat's Newを参照ください。

【対応ファイル】

種類	対応バージョン
ACIS SAT	~ R29
Autodesk Inventor	2024
CATIA V5/V6	R2023
KeyCreator	2022 SP0
STEP	AP203/AP214
Mechanical Desktop	2009
NX	2206
Parasolid	v35.1
PTC Creo Parametric	9.0
Real DWG	2022
Rhinoceros	3 ~ 6
Solid Edge	2022
SolidWorks	2011 ~ 2025
IGES	
DWG, DXF, VDA-FS	



株式会社 松浦機械製作所
営業本部 CAD/CAM販売 & サポート



URL: <https://www.matsuura.co.jp/gibbs/>

Matsuuraは株式会社松浦機械製作所、Gibbs、GibbsCAM、GibbsCAMロゴ、"Powerfully Simple. Simply Powerful"はCAMBRIO社の米国及びその他の国における登録商標です。
CoroPlus® Tool LibraryはSandvik社、その他記載されている製品名、会社名は各社の商標、または登録商標です。
ここに掲載した製品の仕様は、改良等の理由で予告なく変更する事があります。